

創立五十周年 1967-2017

青森総合卸センターニュース



編集・発行 協同組合青森総合卸センター 〒030-0131 青森市問屋町2丁目17-3 ☎017-738-4711 FAX017-738-7323
URL http://www.tonyamachi.com E-mail info@tonyamachi.com 発行/2018(平成30)年3月31日

サイバー犯罪対策などについて学ぶ

組合員昼食会

組合員昼食会が2月8日(木)に問屋町会館1階会議室で開催され、組合員ら55名が出席した。

はじめに、青森県警察本部サイバー犯罪対策係の工藤係長が、青森県におけるサイバー犯罪の脅威と対策を紹介。工藤係長は「データを人質に身代金を要求するランサムウェア」による被害が急増している。金銭を払ってもデータが戻る保証はないので、感染した場合、パソコンの初期化が最も安全な処置となる。備えとして2、3日に1度はオフラインのハードディスクにバックアップをとる。その他、とアドバイスした。その他、ウェブカメラからの情報漏洩の危険性や特定の企業から機密情報を抜き取る「標的型攻撃メール」の手口や対策を、VTRを交えて解説した。

次に、(株)ソフトウェアアカデミー におもりの細川課長が、中小企業に求められる情報セキュリティ対策について説明し、



組合員昼食会

「ビジネスを行う上でセキュリティ対策は必須。対策が甘いと取引を拒否されることもある」とセキュリティ対策に早急に取り組みよう勧めた。その後、参加者全員が「5分でできる情報セキュリティ自己診断」を実施して自社のセキュリティレベルを数値化し、対策が不十分な部分を確認した。

続いて組合員の(株)ヒゲチが、自社の健康づくり活動を断や予防接種などの費用を会社が負担するほか、検診を受けるための特別休暇の取得や勤務時間内の受診を認めるなどで受診を奨励。また、社内リラクゼーションスペースを設け、フットマッサージャーや酸素カプセルを用意。さらに、社員全員が毎朝、会社で血圧とアルコール検知の測定を実施するなど、従業員の健康づくりの環境を整えている。説明の最後に、同社の取扱商品である、座ったままカローリ消費できる事務用椅子「ing(イング)」を紹介。参加者は実際に座って座り心地を体感した。

近年、昼食会には毎回多くの組合員が参加しており、組合では、より有益な情報を提供できるよう、多方面にアンテナを広げ情報収集する。

積雪が1メートルを超える

今冬は全国的に大雪による被害や混乱が数多く発生した。青森市でも2月21日に積雪量が2年ぶりに1メートルを超え、翌22日には今冬の最深積雪となる110cmを記録。組合では雪害警戒態勢をとり、組合員へ屋根等の積雪状況の確認等を呼び掛け、雪害への備えを注意喚起した。

大雪により団地内の道路には寄せ雪がうず高く積まれ道路幅員が減少したため、組合では青森市に対し早急な対応を再三要望。幹線道路は比較的早く対応がなされたが、枝



うず高く積まれた寄せ雪

蛍光灯共同回収事業再開

2017年10月に休止した蛍光灯共同回収事業が2018年4月より再開されることと決定した。

事業所から排出される蛍光灯が産業廃棄物扱いになったことに伴い、組合では2015年6月より蛍光灯の共同回収をスタートさせた。しかし、2017年10月より蛍光灯に含まれる水銀の取り扱いが厳格化され、蛍光灯の処分施設が引き取りを中止。これに伴い、組合の共同回収事業も休止せざるを得なくなった。

今回、蛍光灯の処分施設の受け入れ体制が整ったため、共同回収事業を再開することとなった。回収頻度はこれまでの2ヶ月に1回を年3回に



以前の回収の様子

変更(4月、8月、12月の第3木曜日)。費用は無料だが、持ち込む蛍光灯は問屋町内の事業所から排出されたものに限る。利用希望者は回収日の2週間前に案内される申込書に必要事項を記入のうえ事務局に申し込み、回収日当日に問屋町会館へ持ち込む必要がある。

線道路の対応は遅れ、車の通行に支障をきたした。

組合では、来冬以降も青森市と緊密な連絡をとり、組合員の業務に支障をきたさないよう努めたい。

2018年度事業計画の承認
第8回理事会

2月26日(月)に問屋町会館において第8回理事会が開かれ、審議の結果、全て原案どおり承認された。

また事務局からは、除排雪費の中間報告や問屋町地区枝線道路整備の要望書提出などについて報告を行った。

主な案件審議は次のとおり。
案件一、2018年度事業計画の骨子について

案件二、事業委員会からの意見について

案件三、労務対策委員会からの意見について

2018年度事業計画立案アンケート結果まとめ

組合では2018年度の事業計画立案に向け、組合員を対象にアンケート調査を実施した。調査結果は次のとおり。

近年、参加者数が増えている組合員昼食会などの情報提供事業で開催を希望するテーマについての設問には、「働き方改革について」を望む声が最も多く57社であった。「求人対策について」(46社)、「IoTの活用について」(35社)、「防災対策について」(26社)がそれに続いた。

組合員従業員を対象とした

の意見について
案件五、組合員跡地買取資金の借換について
案件六、2017年度第9回理事会の日程等について

組合が青森県ECOに「オフィス」に認定

青森県が実施している「あおりECO」にこのオフィス認定」制度において、当組合が、プレミアム認定を受けた。

同認定は、リサイクルの推進など環境に配慮した取り組みをしている事業所を認定し、その取り組みを広く県民等に紹介することにより、省エネルギーやごみの減量、リサイクルなど環境に配慮した活動を

福利厚生事業に関する設問では、「ウォーキング教室」(43社)や「料理教室」(39社)、「ボラリング教室」(27社)、「フラーアレンジメント教室」(21社)の開催を望む回答が多かった。

その他、組合員施設の課題については、これまで同様「老朽化対策」が最多で59社。9社が、今後の新築や増改築を計画していると回答した。

近年は社屋の建て替えや改修の動きも多く見られている。組合では、新築だけでなく改築にも利用できる低利

(2017年度金利0.45%)かつ20年の長期資金を調

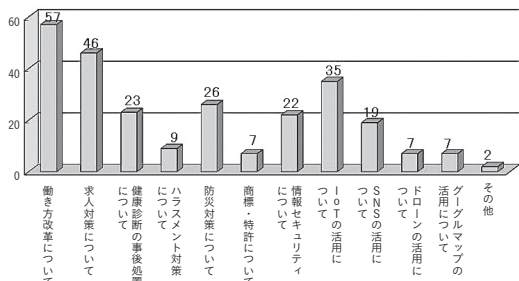
を進めることを目的として実施。認定基準は20項目のうち5個以上で該当、10個以上取り組んでいるとプレミアム認定となる。

当組合では、紙類や空き缶、ペットボトル、木製パレット、パソコンなどのリサイクル回収を実施。また、組合員や近隣企業の協力のもと行っている合同清掃や緑のボランティア隊の活動などが評価され、このたびの通常認定の1段階となるプレミアム認定となった。

組合では今後も、各種リサイクル回収や美化・緑化活動など、環境に配慮した取り組みを積極的に推進していく。

達できる高度化事業を積極的にPRをし、利用にあたっては全面的なサポートを行う。

【情報提供事業 開催希望テーマ】



個性心理学で
コミュニケーション向上
青友会親睦交流会

問屋町支店長・所長連絡会(青友会)の第25回親睦交流会が2月20日(火)、ホテル青森で開催され、同会員ほか25名が参加した。

今回は、いむらきよし流個性心理学認定講師・認定カウンセラーのしばたけんじ氏を講師に招いて、「ひとの個性を楽しく学ぶ個性心理学について」をテーマに講演を行った。

個性心理学とは90年代に流行った「どうぶつ占い」のものになった考え方で、誕生日を元にした統計学。人間の個性を6種類の動物キャラクター

問屋町で厄除け祈願
新年合同厄払い

2018年新年合同厄払いが2月5日(月)に問屋町会館で開催された。同事業は、組合員従業員に対する福利厚生の一環として2013年に初開催され、今回で6年目となる。

午後零時15分から行われた厄払いには、今年厄年を迎える組合員従業員12名が参加した。会場には祭壇が設置され、問屋町の氏神様である大星神社の沼田禰宜が祝詞を読み上げた。参加者は神前に玉串を捧げ拝礼し無病息災を祈願。



問屋町会館で合同厄払い



講師のしばた氏

1で表現し個性を分析する。参加者は、早速、自分の生年月日から自身の動物キャラクターを探し出し、その特徴や行動パターンを確認。当ではまる部分の多さに驚きながら、しばた氏の解説に熱心に耳を傾けていた。

業務用食材専門卸

株式会社 小田川

本社 青森市第二問屋町三丁目8番36号
TEL (017) 739-5465 FAX (017) 739-9058



みちのくコカ・コーラボトリング株式会社

本社
若手県紫波郡矢巾町広宮沢1-279 TEL 019-698-3111(代表)
チェーンストア青森営業所
青森県青森市第二問屋町三丁目4番12号 TEL 017-739-3511

問屋町たんしん

第26回問屋町納涼パーティー
 ▼日時 7月27日(金)
 19時〜21時
 ※詳細は追ってご案内します

業務報告

…主要事項…

2月
 2日▼青森県運営診断
 5日▼第11回景観推進管理委員会
 ▼問屋町新年合同厄払い

7日▼青森市へ問屋町地区枝線道路整備要望書提出
 8日▼組合員昼食会
 ▼問屋町ボルダリング教室vol.1.4
 13日▼第4回事業委員会
 ▼青銀金友会総会・新年会
 15日▼金融審査会
 16日▼第5回若手従業員親睦交流会
 17日▼簡易郵便局業務研究会
 ▼(株)青森新生活互助会創立50周年記念祝賀会
 19日▼第3回労務対策委員会
 20日▼第3回環境対策委員会
 ▼問屋町支店長・所長連絡会第25回親睦交流会
 22日▼第2回企画情報委員会
 ▼市高度化事業団体連絡協議会地域産業懇談会
 23日▼東北卸団地連絡協議会事務局職員研修会
 26日▼第8回理事会
 ▼あおもりコンピュータ・カレッジ運営委員会
 27日▼津軽海峡ブランド商品開発実行委員会
 ▼県中小企業団体事務局代表者懇話会役員会
 ▼県中央会関係三団体合同新年講演会・新年会
 28日▼青森商工会議所業務流通商業部会総会

問屋町ビジネススクール

1日▼「働きがい」のある会社づくり方
 6日▼決算書の読み解きポイント(損益計算書編)①
 8日▼決算書の読み解きポイント(損益計算書編)②
 20日▼決算書の読み解きポイント(CF計算書編)①
 22日▼決算書の読み解きポイント(CF計算書編)②

経済雑感 第八十二回 蓮室コンサルタント事務所 代表 蓮室 光雄

前号に引き続き、経営コンサルタントの蓮室氏による経済雑感をお送りする。

労務管理のパラダイムが変わりました。一昨年の春、「職業能力開発促進法」が改正され、従業員には自律的キャリア形成、つまり自分で自分のキャリア形成を考へる必要性と、経営者にはその従業員の自律的なキャリア形成を支援する責任があることが明記されました。つまり、従業員は言われることをするだけではなく、自分の業務遂行能力を自分の責任で高める、言い換え



蓮室 光雄 氏

るとキャリア形成を自分の責任で行うことが求められており、企業はその支援をする責任を課せられたのです。では、どのようにすれば従業員のキャリア形成を促進し、「働きがい」を高めつつ、企業の発展にも繋がる仕組みができるのでしょうか？

心は目標達成度の評価であり、いわば「裁きの人事制度」または「脅しの人事制度」と言った感じの成果主義の制度だったと思います。しかし、これからは従来型評価制度ではなく、「人を育てる人事制度」つまり従業員が育つことを狙いにしたシステムが必要なのです。この人が育つ人事制度は、①「資格等級制度」、②「行動評価制度」、③「給与制度」の3つの制度から成り、「資格等級制度」は従業員がどんな業務遂行力(キャリアラダーと呼んでいます)が望まれているかを示し、キャリア形成の目標が示されます。そして「行

動評価制度」はどのようない行動・努力が期待されているかを①成果に繋がる行動努力、②組織人として好ましい行動・努力、③能力向上などに繋がる行動・努力の3項目について知識ではない行動面または努力面についての目標設定を行い、みんなより良い組織作りを目指す。

「働きがい」の向上には、人事制度に加えて、管理者参加で作成する「目標管理」や職場で実践する働きがい向上活動なども必要です。これらの活動を「働きがいマネジメントシステム」として構築し、運用を図ることが今後の企業経営には求められています。

(完)

未来をネットワークする
JAC www.jacopen.co.jp
 ホームページ作成やサーバの運用管理は
 弊社データセンターにお任せください。
株式会社 青森共同計算センター
 〒030-0113 青森市第二問屋町3-10-26
 電話 017-771-1111 FAX 017-771-1123

人と大地のハーモニー
ISEKI 農業機械販売
株式会社 中セキ東北
 青森支社
 〒030-0131 青森市問屋町2丁目11-23
 TEL 017(738)1331 FAX 017(738)8834

豊かな住宅環境と快適な暮らしを追求します
藤村機器株式会社
 青森支店 TEL 017-739-4551
 FAX 017-739-4145
 弘前・八戸・大館・仙台・秋田

暮らしと住まいの総合商社
東栄株式会社
 東北支店
 TEL (017) 762-3316
 住設事業部 青森営業所
 TEL (017) 762-3503
 青森市第二問屋町3丁目3番42号

問屋町地区枝線道路整備を要望

組合では2月7日(水)に問屋町地区枝線道路の整備に関する要望書を青森市に提出した。

卸団地内の道路は当組合が団地造成時に他のインフラと一緒に整備し、その後、青森市に寄付した。現在は青森市が維持管理を行っている。

問屋町地区の幹線道路は、歩道も含め全面アスファルト舗装が実施されているが、枝線道路は造成当時のままコンクリート舗装となっており、コンクリート等の劣化による損傷で凹凸も多くなり、車の通行に支障を来している。また、歩道も造成当時のまま

団地企業訪問

今回の団地企業訪問では、昨年6月に新たに組合員となった(株)寺岡システムの香川所長にお話を伺った。

同社は、計量機器のトップメーカーとして、業界初・世界初の製品を数多く開発してきた(株)寺岡精工のグループ会社として1965年に設立。仙台に本社を置き、函館・東北6県に営業所を構え、POSシステムをはじめ、クラウド型店舗管理システムや自動計量包装付機、食品表示用ラベルプリンタなど、食品流通業界の必要機器すべてを取り扱う。

「当社では、製品販売だけでなく、システム販売を通じて」と

楽しく交流を図る 若手従業員親睦交流会

問屋町若手従業員親睦交流会が2月16日(金)にホテル青森で開催され、組合員従業員ら30名が参加した。

同交流会は問屋町の若手従業員の交流促進を図る目的で企画され、今回で5回目の開催となる。参加者により楽しんでもらえるよう毎回趣向を凝らしており、今回は特別企画としてマグロの食べ比べクイズを実施。大間の本マグロ、冷凍のバチマグロ、鯛の3種類の刺身を目隠しして食べて正解を当てるゲーム。難易度が高いと思われたが、参加者の半数となる15名が全問正解し、会場は大いに盛り上がり



組合の藤本専務理事が要望書を手渡す

して経営の合理化・効率化の実現をサポートしています。また、機器・システム導入後の修理やメンテナンスも迅速に対応し、365日24時間体制のヘルプデスクによるアフターサービスで万全を期しています。今後も市場ニーズの変化を先取りし、常にお客様の視点に立った「新しい常識」を提供し、新たなビジネス価値の創造を目指して挑戦し続けます」とアピール。



寺岡システム 青森営業所 香川 智宏 氏

業界の現状について話が及ぶと「小売店業界では人手が不足しており、当社のセルフレジが多めの店舗で取り入れられています。セルフレジ導入により、レジ待ち時間の解消やレジチェックの金銭

解決パターンを提案しています。また、売り場に加えてバックヤードでの作業の効率化もすすめており、ラベリングシステムや計量システムなど、多彩なラインナップを取り揃え最適なサポートに努めます」と話す。

交流会ではその他、1人ずつ自己紹介や2回の席替えを行い、多くの参加者と交流し、団地内交流の輪を広げていた。

組合では今後も、コミュニケーションの活性化を図るべく団地内交流を促す事業を企画していく。



名刺交換をして交流を図る

青森営業所の今後の目標について聞くと「問屋町への進出を機に、これまで行っているお客様の問題点解決への提案に磨きをかけ、実績の向上とともに従業員を増やし、更に成長した営業所にしていきたいです」と力強く語った。

八戸営業所から青森営業所に来て2年目となる同氏に、プライベート面について尋ねると「趣味はゴルフです。八戸と青森の雪の違いもあり、回数は減ってしまいましたが昨年は15回ほど行きました。今年も暖かくなったら行きたいと考えているので、誘っていただけではないと思います。ゴルフは1人では出来ませんからね」と笑顔で答え

編集後記

組合員昼食会には毎回多くのご参加をいただいております。最近では50名を超えることが度々となり一階の会議室ではボックスの状態です。▼有益な情報提供と頑張っている組合スタッフには励みになります。▼キャパの問題も検討しなければとも思っています▼転話題。企業の競争戦略論の大家・ハーバード大学のマイケル・ポーター教授が2011年に提唱した「CSR (Corporate Social Responsibility) 企業の社会的責任」からCSV (Creating Shared Value) 共有価値の創出への転換」という考えについてご紹介いたします▼△従来のCSR活動は社会に何の影響も及ぼしませんでした。「変化を生み出す」ことがなかったのです。大事なものは企業の事業戦略と社会を結び付けることでした△社会問題を企業の事業活動とは切り離して別の課題として見るのではなく、事業戦略として見るとして扱うのです。社会と企業との間で価値が共有されるようになるのは、社会だけでなく企業も利益を得るからです。これがCSVです△「事業戦略と社会との間に強い関係を築くこと」が可能なら「企業は最も力を入れるべきです」△この企業を「組合」に、社会を「地域社会」に置き換えると、「組合の存在意義」に適合する考えです。特に卸商業団地組合には合致すると思います。そして組合50周年に「協青森総合卸センター」が発表した「三つの価値(経済・社会・文化) 創出事業」にも通底する考えです。(藤本)

「組合の存在意義」に適合する考えです。特に卸商業団地組合には合致すると思います。そして組合50周年に「協青森総合卸センター」が発表した「三つの価値(経済・社会・文化) 創出事業」にも通底する考えです。(藤本)

セミセルフレジ 導入実績No.1

- 全国1,700店舗以上の導入実績 (※)
- 2002年セルフレジを国内で最初に販売開始した業界のバイオニア
- 特許登録数110件以上! 抜群の硬いやすさ (※2017年11月日経誌)

株式会社 寺岡システム 青森営業所

住所: 〒030-0131 青森県青森市問屋町1-11-11
TEL: 017-764-3316
FAX: 017-728-4866

新しい常識を創造する Searching for a New Balance

いつも変わらないおもてなしを。いつも新しい感動を。

HOTEL AOMORI ご予約・お問い合わせ (ホテル青森予約センター/9:00~20:00)
〒030-0812 青森市問屋町1-23 TEL.017-775-4141 TEL.017-775-4007